

第15回企画展

“志波城前夜”の 蝦夷（エミシ）社会

— 9世紀初頭以前の盛南地区 —

会期：平成29年10月7日（土）～平成30年1月21日（日）

【開館時間】9：00～17：00（入館は16：30まで）

【休館日】毎週月曜日（祝祭日にあたる日の場合は翌平日）、毎月最終火曜日

【入場料】一般200円（団体20名以上160円）小中学生100円（団体20名以上80円）

※小学生未満、市内在住65歳以上の方、障がい者手帳をお持ちの方とその付き添いの方1名は無料

【後援】岩手考古学会、岩手史学会、岩手日報社、盛岡タイムス社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、時事通信社盛岡支局、共同通信社盛岡支局、河北新報社、産経新聞盛岡支局、岩手日日新聞社、デーリー東北新聞社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、岩手ケーブルテレビジョン、エフエム岩手、ラヂオもりおか、アキュート、マ・シェリ、情報紙 ゆうゆう

盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 盛岡市本宮字荒屋13-1

TEL. 019-635-6600 FAX. 019-635-6605

“志波城前夜”の 蝦夷（エミシ）社会

— 9世紀初頭以前の盛南地区 —

盛岡の新市街地として多くの人々が行き交う盛南地区は、約20年の発掘調査により17遺跡が明らかとなりました。特に7世紀後半～10世紀、都の律令政府が東北北部にまで進出した歴史の大きな転換点に前後する10箇所もの古代集落の全域が調査され、1300棟以上の竪穴建物や掘立柱建物が発見されたことは貴重な成果でした。

展示会では、律令政府の最前線として、坂上田村麻呂が9世紀初頭に志波城を造営する以前、蝦夷（エミシ）と呼ばれた人々が活躍した時代の盛南地区に焦点をあて、現代に生きる我々東北人が知るべき先人たちの暮らしや社会を紹介・解説します。

【関連事業のご案内】

◎特別講演会

「古代東北の蝦夷（エミシ）と律令国家

— 7・8世紀を中心に —

11月12日（日）13:30～15:30

講師：八木光則氏

（岩手大学平泉文化研究センター 客員教授）

場所：遺跡の学び館研修室

◎学芸講座

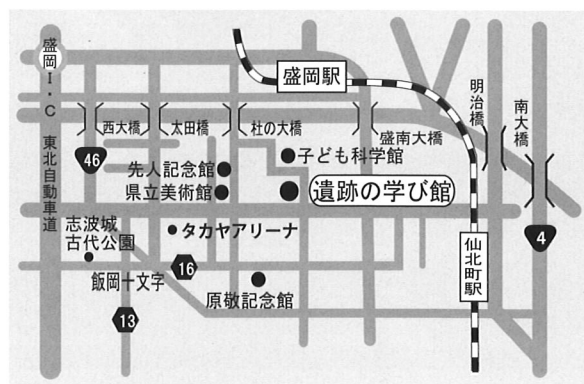
「“志波村”の古代集落 —盛南地区の7・8世紀—

10月22日（日）13:30～15:00

講師：当館職員

場所：遺跡の学び館研修室

いずれも入場無料、事前申し込み不要（定員80名）



● 交通案内

◎JR東北本線、JR東北新幹線盛岡駅から車で7分
徒歩20分

◎岩手県交通バス
盛南ループ200
「総合プール前」「原敬記念館前」
「県立美術館前」バス停下車徒歩10分

◎東北自動車道 盛岡ICから車で15分
盛岡南ICから車で20分

盛岡市遺跡の学び館

〒020-0866 盛岡市本宮字荒屋13-1

TEL. 019-635-6600 FAX. 019-635-6605